

**\* 東京天文台 100周年記念誌作成時の資料ーその 3-9-1ー (188cm望遠鏡ニュートン焦点観測台)**

アーカイブ新聞 793号 (2015年4月30日) に「東京天文台 100周年記念誌作成時の資料ーその 3-1ー」、アーカイブ新聞 794号 (2015年5月7日) に「東京天文台 100周年記念誌作成時の資料ーその 3-8ー」という記事を書いた。これらはアーカイブ室新聞 346号 (2010年6月9日)、2010年6月に 349号 (2010年6月11日)、353号 (2010年6月21日) に「東京天文台 100周年記念誌作成時の資料」という3回の記事を書いたものの「その 3」の16項目の内容を具体化した記事である。今回は、「その 3」の9項目を具体化した記事である。9項目にリストアップされたものは以下のように多数の写真であった。

9. 非常に程度の悪い封筒に入った写真多数

- ① 岡山航空写真：4枚
- ② 岡山 91cm 望遠鏡ドーム 9枚
- ③ 91cm 望遠鏡ドーム工事写真 3枚
- ④ 91cm ドーム骨組仮組み立て 4枚
- ⑤ 日本光学工場の 91cm 望遠鏡 (岡山)
- ⑥ 日本光学での 91cm 望遠鏡組み立て光景 24枚
- ⑦ 日本光学での 91cm 主鏡研磨口径 4枚
- ⑧ 日本光学での主鏡検査装置の道具立て写真：6枚
- ⑨ 日本光学での 91cm 主鏡蒸着光景 1枚
- ⑩ 91cm 望遠鏡主鏡調製写真 (カセグレン焦点を覗いている)
- ⑪ 188cm ドーム組み立て工事写真 21枚
- ⑫ 188cm 望遠鏡組み立て写真 6枚
- ⑬ 188cm 望遠鏡ニュートン観測台仮組み立て写真 3枚
- ⑭ 岡山 188cm ドーム駆動装置
- ⑮ 188cm ドーム写真 9枚
- ⑯ 91cm 望遠鏡制御卓と光電測光装置が写っている写真
- ⑰ 91cm 望遠鏡受光部と石田さん 1枚
- ⑱ 91cm 望遠鏡操作卓の石田さん 1枚
- ⑲ 岡山開所記念品写真 1枚
- ⑳ 188cm 望遠鏡写真 2枚、鏡筒 1枚
- ㉑ 188cm 望遠鏡と操作卓 2枚
- ㉒ 鴨方駅に着いた荷物写真 4枚

今回は、この中の 188 cm 反射望遠鏡のニュートン焦点観測台にかかわるものについて記事にしておきたい。188 cm 望遠鏡ドームは石川島造船所が建造した。そのドームの組み立ての様子の写真は紹介されたことはあったが、ニュートン焦点観測台について記事になったことはないと思う。今回の写真の中には石川島造船所での仮組立ての様子 3 枚も含まれており、非常に珍しく貴重なものと思う。リストの⑬188cm 望遠鏡ニュートン観測台仮組み立て写真 3 枚、および⑩188cm ドーム組み立て工事写真 21 枚に分類したうちの 5 枚がニュートン焦点観測台関係のものであった。ニュートン観測台の全容が写真 1、2、3 である。



写真 1 ニュートン観測台



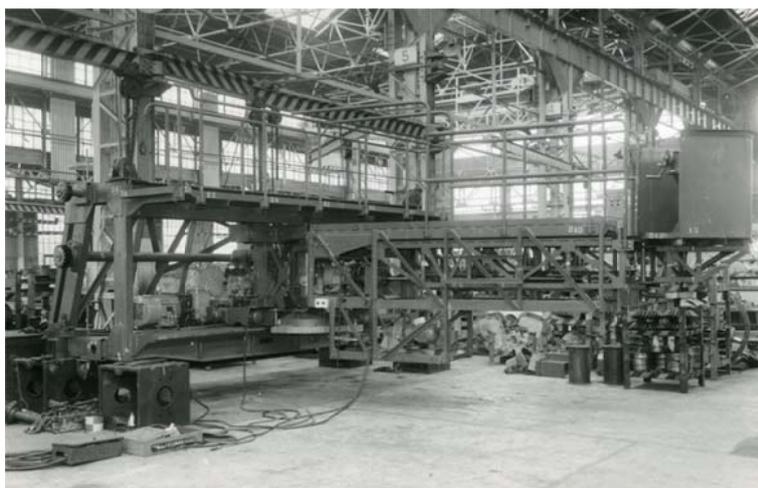
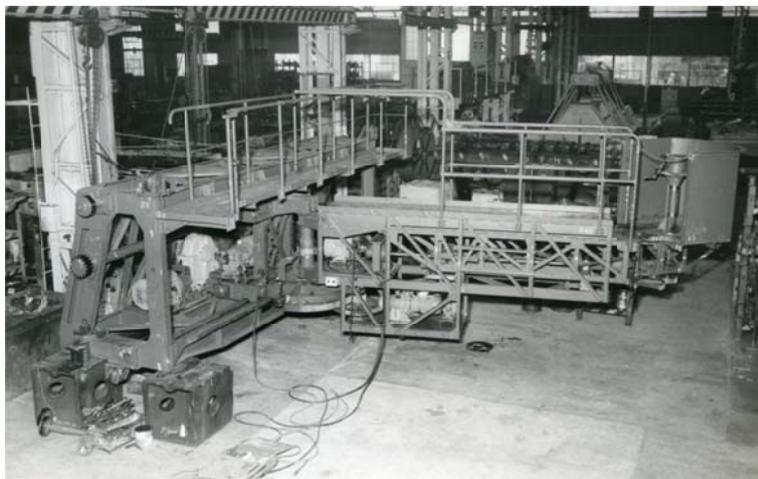
写真 2 ニュートン観測台



写真 3 ニュートン焦点観測台

ニュートン観測台は、ドームスリット両側の長い歯車に沿っての上限駆動、ブリッジ構造に沿っての横移動、前後の伸縮駆動、左右への旋回駆動、観測者の乗る部分の首振り駆動（これのみ手動）の5つの運動でニュートン焦点での観測に用いられた。

次の3葉の写真が石川島造船所における仮組時の写真である（写真3～5）。



上から写真3～5 石川島造船所での仮組写真

次の写真 6、7 はニュートン観測台に関係したものである。



写真 6 手前は望遠鏡の北ピア

写真 7 ドーム内側の回廊が見える

写真 7 のドーム内側の回廊は、ニュートン観測台へのアクセス通路でもある。

このニュートン観測台は、55 年を経た現在でも現役で働いているかなり大がかりな機械である。筆者は 1961 年に岡山天体物理観測所に就職した。その初期の仕事が、この観測台の制御ボックスのスイッチの改良であった。接点を押し付けるタイプのスイッチから、マイクロスイッチへの交換であった。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)